

- 更生施設版 -

事業プロフィール

1. 事業所名 :

2. (1) 運営主体(法人名等) :
(2) 設置主体 :

3. 事業所所在地 :

4. 事業所の長の氏名(施設長等) :

5. 連絡先
Tel:
Fax:
Eメール:
ホームページ:

6. 同一運営主体が同じ敷地内で連携して実施している主な福祉・医療サービスを利用者数からみて上位5つ以内(例. 宿所提供施設等、評価対象事業を含む。)
 - 1)
 - 2)
 - 3)
 - 4)
 - 5)

7. 同一運営主体が同じ敷地内で連携して実施している全事業のうち、今回の評価対象サービス事業が占める割合
収入面でみて 約 _____ %
職員数でみて 約 _____ %(非常勤は常勤換算)

8. 当該事業の開始時から現在までの重要な変遷(制度改正に基づくもの含む)
 - (1) 開始時期 年 月
 - (2) 重要な変遷

9. 理念・方針

事業所が大切にしている考え(事業所の理念、ビジョン、使命など経営・運営方針)のうち、特に重要なもの(上位5つ以内)を簡潔に記述

- 1)
- 2)
- 3)
- 4)
- 5)

10. サービス提供の考え方について記述(日々の業務の考え方、利用者ニーズに合わせた施設独自の取組、利用者や家族との関係、地域との関係を含む)

11. 期待する職員像

(1)職員に求めている人材像や役割

(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)

12. 職員の状況(年 月 日現在)

(1)常勤職員数 _____人

非常勤職員数 _____人(常勤換算 _____人)

(計算式:非常勤職員のそれぞれの勤務延時間数の総数÷当該事業所の常勤職員が勤務すべき時間数)

(2) 専門職員の人数 (事業所に勤務する専門職ごとの人数を記載(基準外を含む))

| | | | | | |
|-----|--|-----|--|-------|--|
| 看護師 | | 栄養士 | | 社会福祉士 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

(3) 非常勤職員の勤務形態と業務内容

* 職員種別は、パート、アルバイト、派遣、契約等、施設で通常使用している呼称でご記入ください。

| 職員種別 | 人数 | 勤務形態 (勤務時間、シフト) | 業務内容 |
|------|----|--------------------|------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

(4) 常勤職員の平均年齢 _____ 歳

(5) 常勤職員の男女比 _____ 男性 _____ % / 女性 _____ %

(6) 常勤職員の平均在職年数 _____ 年 (現在の事業所での在職年数)

(7) 職員の採用・退職状況 (当施設での前年度実績)

採用 常勤: _____ 人 ・ 非常勤: _____ 人

退職 常勤: _____ 人 ・ 非常勤: _____ 人

13. 現在のサービス提供能力と利用者数 (以下のどれかに つける)

- 1) サービスを希望しながら待っている人 (事業所に登録している待機者) がかなりいる
- 2) ほぼサービス提供能力に見合った利用者数で、待っている人はほとんどいない (ほぼ定員を満たしている)
- 3) サービス提供能力に余力があり、希望者があれば受け入れたい
- 4) その他 (_____)

14. 3年後の見通し (以下のどれかに つける)

- 1) 地域のニーズに応じて施設機能を生かした新たなサービスを提供する計画がある
- 2) 現在のサービス水準を維持する方向で考えている
- 3) 経営改善・意識改革をしていかないと、現在のサービス水準を下回ることも予想される
- 4) その他 (受託施設の場合、受託者として入所者の現状、社会情勢から考えられる事業展開を記入)
(_____)

15. 評価対象としているサービス事業に関して事業所として力を入れて取り組んでいる点を、人的サービス面と設備面に分けて、重要な順に各3つ以内で記述

人的サービス面

- 1)
- 2)
- 3)

設備・環境面

- 1)
- 2)
- 3)

16. 経営に影響を与えていると考えている事業環境の変化を記述(制度改正を含む)

17. 評価対象としているサービス事業を維持・向上させていくためにこれから何をしていかなければならないかについて、重要な順に3つ以内で記述

(例. 経営改善への職員の参画、職員の能力開発、後継者の育成、給与制度の改善、事業者間交流、入浴設備の拡張など)

- 1)
- 2)
- 3)

18. 定員および現在の利用者

(1) 施設定員 _____人

(2) (_____)年度の入所率(延べ利用者数/ 定員 × 365日 × 100)約 _____ %

新規の申込者が1年以内に利用できる可能性

(前年度の退所者数 ÷ 現在の待機者数 × 100) _____ %

(3) (_____)年度の退所者数及び自活退所状況 _____人

自活 _____人、居宅移管 _____人、入院除籍 _____人、他施設移管 _____人、

任意退所 _____人、無断退所 _____人、命令退所 _____人、死亡 _____人、

拘留除籍 _____人、その他 _____人(_____)

就労自活者の人数・割合 _____人・ _____ %

(前年度自活者数 ÷ 前年度の退所者数 × 100)

(4) 現在(_____ 年 _____ 月 _____ 日)の利用者の状況

現在の利用者数 _____人

男女比 男性 _____ % / 女性 _____ %

平均年齢 _____歳

障害の程度

高齢者・障害者等の数・割合

《高齢者 65 歳以上》 _____ 人(_____ %)
《身体障害・手帳所持者》 _____ 人(_____ %)
《知的障害・手帳所持者》 _____ 人(_____ %)
《精神障害・手帳所持者》 _____ 人(_____ %)
《アルコール依存症・診断のある人》 _____ 人(_____ %)

入所原因

《病院退院後帰来先なし》 _____ 人(_____ %)
《住所なし》 _____ 人(_____ %)
《現住所立ち退き》 _____ 人(_____ %)
《居宅での生活困難》 _____ 人(_____ %)
《その他》 _____ 人(_____ %)

就労形態

《就労者》 _____ 人
（常勤: _____ 人、臨時: _____ 人、日雇: _____ 人、パート: _____ 人、その他: _____ 人）
《所内作業》 _____ 人(内容: _____)
《未就労者》 _____ 人
（内訳 疾病: _____ 人、高齢: _____ 人、求職中: _____ 人、意欲なし: _____ 人、その他: _____ 人）

利用者の措置した福祉事務所で多いもの上位 3 箇所を記述

1. _____ (_____ %) 2. _____ (_____ %) 3. _____ (_____ %)

(計算式:入所者の多い区市町村から入所した利用者数÷現員数×100)

利用者固有の問題に対する専門的援助の実施状況(複数回答あり)

《アルコール問題》 _____ 人(_____ %)
《負債問題》 _____ 人(_____ %)
《精神疾患》 _____ 人(_____ %)
《その他》 _____ 人(_____ %)(内容: _____)

19. 施設の状況

(1)居室の状況

定員に対する個室の割合 _____ % (計算式:個室の定員の合計÷定員×100)

定員別の居室数と定員に対する割合

2人部屋 _____ 室・ _____ %、3人部屋 _____ 室・ _____ %、4人部屋 _____ 室・ _____ %

定員1人当たり居室面積 _____ m²

(計算式:居室面積合計÷定員)

個室以外の場合の間仕切りの種類(該当にすべて)

1. 家具 2. カーテン 3. その他(具体的に: _____)

自活予定者用の居室有無 _____ 室(設備内容:例・個室、炊事設備ありなど)

(_____)

(2)食堂の状況

食堂の数 _____ ヵ所

